

第5学年国語科学習指導案

日 時 平成17年10月12日(木) 授業1

学 級 5年2組 男子18名 女子16名

場 所 5年2組教室

指導者 教諭 小笠原 崇史

1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう
「ニュース番組作りの現場から・工夫して発信しよう」(光村
図書)

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、第5学年及び第6学年における「C読むこと」の目標、「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」から、内容の「イ目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。」「オ必要な情報を得るために、効果的な読みをすること。」に基づいて構成している。

本単元「目的に応じた伝え方を考えよう」は、説明的教材を時系列に沿って大事な事柄に注意して読み取る学習と、教材文で読み取った内容を参考に、自らが原稿を書くなどしてニュースを発信する活動から構成されている。「ニュース番組作りの現場から」は、ニュース番組の特集の作り方について時間に沿って、報道スタッフの役割や情報収集、編集会議の在り方などがまとめられた文章である。その点で本教材は、時系列にそって大事な事柄に注意して読み取る文章としても適している。「工夫して発信しよう」では、「ニュース番組作りの現場から」に書かれた内容を活動のための手引きあるいは解説書として、情報を発信する活動を行う。発信する活動を行うことで、受け手にとって意味のある話題をどう取り上げるか、取材のための方法にはどんなものがあるのか、どういう情報が必要か、伝えたいことの方がよく分かるようにするにはどう編集したらよいかなどを考えることを通して、目的に応じた情報の配列・編集等について

(2) 児童観

児童は、国語の学習だけではなく社会科の学習でも国語辞典を使い積極的に意味調べを行うなど言葉への関心の高さを感じる。その反面、言葉を言い換えるなどの活動では、なかなか適当な言葉が見つからず語彙力が豊富とは言い難い。豊かな読み取りをさせるためにも、様々な言葉に触れさせたり、その意味をていねいに扱いイメージ化させたりしながら言葉に対する感覚を育てたい。

また、「サクラソウとトラマルハナバチ」では要旨を読み取ること、「千年の釘にいどむ」では段落ごとにまとめられた要点を読み取る学習を行ってきた。しかし、読み取る力は個人差が大きく、「豊かに読み取る」ことは一人読みの活動では、難しい子どももいる。そこで、学び合いの中

(3) 指導観

その後の、チャレンジ学習「工夫して発信しよう」の活動のための手引きあるいは解説ともなるため、しっかりと読み取らせたい。「工夫して発信しよう」では、児童が制作する作品の出来そのものではなく、活動を通して目的に応じた情報の配列・編集等についての理解を深めることがねらいであることに注意しながら指導していきたい。

また、学習計画を示した振り返りカードを活用し、単元についての見通しをもつことができるようにさせたい。学習の見通しをもたせることにより児童の意欲を高め、積極的に学習に取り組ませたい。

3 単元の目標と評価規準

	目 標	評 価 規 準
国語への関心・意欲・態度	伝えたいことと伝える方法について関心をもち、自分が伝えたいことを発信しよう	ニュースを探して伝えることに関心をもち、伝え方や内容を工夫しようとしている。
書くこと的能力	書く必要のある事柄を整理し、集めた材料を目的に合わせて選び、加工して伝えること	集めた材料を、目的に合わせて整理し、効果的に配列しながら書いている。
読むこと的能力	自分たちが番組を作るために必要な事柄を時間の順序にしたがって段落ごとに読み取る	テレビ放送のニュース番組の「特集」の作り方を理解し、段落ごとに整理して要旨をまとめている。
言語についての知識・理解・技能	接続語や文末表現から時間の流れをとらえ、文章の構成を捉えることが	時間の経過をとらえ、教材文の構成を理解している。

4 単元の指導・評価計画（15時間扱い）

段階	時間	目 標	・主な学習活動 …学習課題 …主な支援の手立て	評価規準 【評価の観点】 (評価方法)	具体的評価規準		努力を要すると判断された児童への具体的な手立て
					A、十分満足できると判断する視点	B、おおむね満足できると判断する視点	
と ら え	1・2	文章の内容を大まかにつかみ、感想をもち、学習の見通しをもつことができる。	学習の見通しをもつ。 ・テレビのニュース番組を見た経験をもとに、その感想を話し合う。 ・範読を聞く。 ・全文を読んで大まかな内容をつかむ。 ・感想について話し合い、学習の見通しをもつ。 自分たちも情報を発信する活動に取り組むこと	興味をもって文章を読み、疑問や気づきをもとに初発の感想をノートに書こうとする。 【関心・意欲・態度】 (観察・ノート)	重要な語句や文章にサイドラインを引くなどしながら、文章の内容を大まかにつかみ、初発の感想をノートなどに書こうとしている。	興味をもって文章を読み疑問や気づきをもとに初発の感想をノートに書こうとしている。	時間を表す言葉に着目しサイドラインを引くように助言する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・新出の漢字について知る。 ・文章全体が、時間の順序を追って書かれていることをつかむ。 	<p>文章全体が時間の順序を追って書かれていることをとらえる。 【言語事項】(ノート)</p>	<p>文章全体の大まかな構成をつかみ、時間の流れを理解して</p>	<p>文章全体の大まかな構成をつかみ、文章構成図を書いている。</p>	<p>形式段落に気付かせる。学習の欄を参考に考えさせる。</p>
3・4	<p>ニュースを人々に伝えるまでの過程を表に整理しながら、読むことができる。</p>	<p>書かれている内容を表に整理しよう。 ・時間の順序を追って書かれている内容を表に整理し、学級全体で読み取る。 ・学級全体での読み取りを生かす、教材文の続きを自分</p>	<p>時間の順序を追って、内容を表に整理する。 【読むこと】(発言・ノート・ワークシート)</p>	<p>文章の大まかな構成をつかみ、時間の順序を追って内容を表にまとめている。</p>	<p>時間の順序を正しく押さえながら、内容を表にまとめている。</p>	<p>「十六日前」「八日前」というキーワードなどにサイドラインを引きながら読むように助言する。</p>
5	<p>「特集」とは何かを知りこの後の活動を想定しながら、要点を読み取ることができる。</p>	<p>特集は、ほかのニュースとどんな点が違うのだろうか ・第一段落から「特集」と他のニュースとの違いを押さえる。 ・「特集」をつくるにあたって、「おどろき」や「多くの人の関心をよぶ」願いがあったことをつかませる</p>	<p>「特集」と他のニュースとの違いについて読み取っている。 【読むこと】(ノート・発表)</p>	<p>特集と他のニュースとの違いをとらえ特集を作るにあたっての願いがあることを理解しまとめている。</p>	<p>特集と他のニュースとの違いをとらえ特集とは何なのか理解しまとめている。</p>	<p>第1段落を丁寧に読ませ要点にサイドラインを引きながら読むように助言する。</p>
6	<p>「特集」とは何かを知りこの後の活動を想定し、要点を押さえながら読み取り、要点を捉えることができる。</p>	<p>番組作りの過程を押さえ、要旨をまとめよう。 ・番組作りの過程や、スタッフの協力を確認する。 ・番組作りの努力や願いを読み取り、要旨をまとめる。 番組作りの過程には、スタッフの協力があることを確</p>	<p>番組作りの過程を押さえ、要旨を的確にまとめる。 【読むこと】(ノート・発表)</p>	<p>番組作りの各過程や大事な点や気をつけること、そこに込められた努力や願いを要旨にまとめている。</p>	<p>番組作りの各過程で大事な点や気をつける事を読み取り要旨にまとめている。</p>	<p>大事な点や、気をつけることにサイドサインを引かせる。</p>

まとめる・ひろげる	7 チャ	「わたしの特集」を考えて、企画書を書くことができる。	「わたしの特集」の企画書を書こう。 ・自分がデスクだったら、どんな特集をしたいかを考え発表しあう。 ・「私の特集」というテーマで企画書を書く。教材文の要旨をおさ	読み取ったことを生かして、自分の伝えたいと思うことを、企画書に書いている。 【書くこと】(企画書)	目的意識を生かしたりともち、自分の伝えたいと思うことを、企画書に書いている。	自分の伝えたいと思う事を、企画書に書いている。	総合的な学習や校内の活動を想起させ、考えさせる。
	8 (本時) チャ	「私の学校や町を紹介しよう」をテーマに、その内容について考えることができる。	私たちの学校や町をしよう かしよう。 ・情報発信までの手順を確認する。 ・個人で考えた企画書をもとに、グループで紹介したい話題を決める。 目的意識、相手意識をし	目的意識、相手意識をもち、紹介したい話題を選ぶことができる。 【関心・意欲・態度】(話し合い・企画書)	目的意識、相手意識をもち、紹介したい話題を選び目的に合った企画書に書いている。	目的意識、相手意識をもち、紹介したい話題を選びグループの企画書に書いている。	友だちの企画の意見のよいところはどこか、考えさせる。
	9 チャ	自分たちで話し合い、目的に応じて情報を発信する計画を立て、企画書を書くことができる。	私たちの学校や町をしよう かしよう。 ・どんな取材をするのか、相手や場所、方法を考える。 ・取材計画を立てる。取材は何が知りたいのか、誰に会えばいいのか、どん	自分たちの力で情報を発信していきたいという願いをもち目的に沿った企画書を書くことができる。 【書くこと】(企画書)	目的・相手を意識して計画を立て、目的に合った企画書を書いている。	目的に合った企画書を書くことができる。	相手や目的を意識して話し合わせ、その結果を参考に企画書を書くようにさせる。
	10・11 チャ	取材のすずみ具合を交流し、話の組み立てについて考え、編集の準備をする事ができる。	番組を作るための取材をしよう。 ・取材の計画を立てる。 ・お互いの取材のすずみ具合について交流する。番組作りの目的や、インタビューの仕方を確認	必要な材料を集める計画をたて、取材をすることができる。 【書くこと】計画書・インタビューメモ	目的意識をもち、取材の計画を立て、既習の学習を生かしインタビューメモを作成している。	目的意識をもち、取材の計画を立てている。	既習の学習を示し、参考にしながらインタビューメモに記入させる。
			集めた材料を、目的に合わせて整理し、加工して伝	取材したことを編集しよう。 ・教科書「編集して伝える」を参考に、編集す	材料を選んだり配列を考えたたりして、原稿を書くことができる。 【書くこと】	取材した中から、材料を選んだり、配列を考えた	取材した中から、材料を選んだり、配列を考えた

14・15 チャ	学習を振り返り、学んだことをまとめる。	交流会をしよう。 ・お互いに考えを交流する中で、自分のものの方や考え方を広げる。友だちの考えを聞いて共感できるところや新たな気づきがあれば、ノートにメモを記入する。	情報の発信と受信を通して、「情報と自分の関わりについて考えを深めることができる。【書くこと】(発言・ワークシート)	情報の受信者として、よりよい伝え方や、気持ちの変化、今後の在り方について振り返りカードにまとめている。	情報の受信者として、よりよい伝え方について、振り返りカードにまとめている。	受信する際の視点、自分の活動を振り返る視点を示し、その中から限定して振り返り活動を行わせる。
-------------	---------------------	---	---	---	---------------------------------------	--

チャ...チャレンジ

5 本時の指導(8/15)【チャレンジ学習】

(1) 目標

「私の学校や町を紹介しよう」をテーマに、その内容について考えること

(2) 基礎・基本とのかかわり

「ニュース作りの現場から」の学習では、ニュースを人々に伝えるまでの過程を、時間の順序を追って読み取り、番組作りの努力や願いについて考えさせてきた。本単元のチャレンジ学習では、モデル学習で読み取ったことを活用し情報を発信する活動をすることで、情報活用能力を身につけ考えを深めることができると思う。本単元チャレンジ学習でのねらいは次の3点である。

相手意識・目的意識を持って、話題を選択できるようにする。

取材に必要な事柄を考え、情報を集めることができるようにする。

(3) 本時の指導にあたって

本時は、情報発信までの手順を確認し、話題を設定する学習をする。

これまでに、自分たちも情報を発信するために、「ニュース番組作りの現場から」を読み取り、番組作りには発信する側の努力や願いが込められていること、特集ができあがるまでの過程を押さえている。

本時においては、前時までの学習と、「工夫して発信しよう」をもとに、情報発信までの手順を確認させ、自分たちの学校や町を紹介する計画を立てさせたい。一人一人が考えた企画書をもとに、グループで取り上げる話題を決定する。その際、目的・相手を常に意識させながら話し合いを進めさせたい。

(4) 展開

段階	学習内容・学習活動	支援の手立てと評価の観点	準備・資料
	1.学習内容を把握する	・前時までの学習を振り返り	・学 ・企画書

た し か め る 3 0 分	<p>2 課題解決のための見通しを持ち、本時の言語活動を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を発信するという言語活動に意欲をもつ。 ・前時まで学習と「工夫して発信しよう」から、情報発信までの手順を確認する。 <p>3 学習課題を解決する。</p> <p>(1) 紹介する内容について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で考えた企画書をもとに、グループで紹介したい話題を決める。 ・紹介する話題について早く決まったグループには、どんな取材を行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオニュースを作ることを確認する ・「ニュース番組作りの現場から」の要旨をもとに、情報を発信する人々の努力や願いを想起し、活動への意欲を高めたい。 ・「工夫して発信しよう」を音読させ、前時までの学習をもたせ持 <ul style="list-style-type: none"> ・目的意識、相手意識をしっかりとめさせる。 ・個人の企画書をもとに話し合わせる。 企画が生かせそうにないときには、新たな企画を考えさせる。 ・興味・関心を大切にしながら、現実可 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価規準】（関心・意欲・態度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的意識、相手意識をもち、紹介した話題を選んでいる。 </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">《具体の評価規準》</th> <th rowspan="2">努力を要すると判断された児童への具体的な手立て。</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 33%;">目的意識、相手意識を持ち、紹介した話題を選び、目的に合った企画書を書いている。</td> <td style="width: 33%;">目的意識、相手意識を持ち、紹介した話題を選び、グループの企画書を書いている。</td> <td style="width: 33%;">友だちの企画の意見のよいところはどこか、考えさせる。</td> </tr> </tbody> </table>	《具体の評価規準》		努力を要すると判断された児童への具体的な手立て。	A	B	目的意識、相手意識を持ち、紹介した話題を選び、目的に合った企画書を書いている。	目的意識、相手意識を持ち、紹介した話題を選び、グループの企画書を書いている。	友だちの企画の意見のよいところはどこか、考えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ニュース番組作りの現場から」構成図 ・プロジェクト ・企画一覧表
	《具体の評価規準》		努力を要すると判断された児童への具体的な手立て。								
A	B										
目的意識、相手意識を持ち、紹介した話題を選び、目的に合った企画書を書いている。	目的意識、相手意識を持ち、紹介した話題を選び、グループの企画書を書いている。	友だちの企画の意見のよいところはどこか、考えさせる。									
<p>4 紹介する内容について交流する。</p> <p>5 本時の学習について自己評価を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何のために伝えるのか、目的意識も発表させる。 ・本時の学習について振り返らせ、自己評価させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価カード 									

(4)板書計画

工夫して発信しよう

「私たちの学校や町をしようか
しよう。」

情報発信：願いたい（知ってほしい、
伝えたい）

驚き

情報発信の手順

① 計画を立てる

話題を決める
取材の仕方を考える

② 材料を集める

編集する

伝える